

心理学から読み解く防災行動

2018年は相次ぐ地震や豪雨などの災害が記憶に残る年となりました。多くの人は「避難したほうがいいですよ」という情報を受け取っても「今までも大丈夫だったから今度も大丈夫に違いない」と考えて行動を起こしません。それどころか、避難が空振りに終わると、情報の発信者に対して「何もなかったじゃないか」と苦情を言ったりします。このような人々の振る舞いは、本人たちの安全を脅かすものとしてしばしば批判されることがあります。しかし心理学という観点で見ると、これらの振る舞いは、人間の（あるいは動物全般の）ごく当たり前の行動適応の結果であるようなのです。私たちは、自分の身を危険にさらさないために、「大丈夫」だと思い込まずに逃げる必要があります。その第一歩として、まずはなぜ自分は「大丈夫」と思い込んでしまうのか、心の仕組みを知ることから防災行動について考えます。

講師 島崎 敏（国立研究開発法人防災科学技術研究所特別研究員）

1976年東京生まれ。静岡県立大学卒業後、トラックドライバーなどを経て早稲田大学大学院に進学、同大助手、助教を経て2015年より現職。実践女子大学や西埼玉中央病院附属看護学校の非常勤講師も務める。認知心理学や人間工学が専門で、心理学を用いた事故防止や災害被害の軽減などを旨とする研究者、博士（人間科学）。著書に『心配学「本当の確率」となぜずれる？』（光文社新書）などがある。小2・年長・0歳の3人の娘の父。趣味は料理と娘のヘアアレンジ。



開催概要

- 日時：2018年12月6日（木）19:00～20:45（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：500円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341

ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>